

議会 だより

この間の本会議での質問項目は以下の通りです。

本市の都市経営についての考え方について 子育て支援、教育日本一のまちづくりについて

- ・児童青少年施設について
- ・発達障害児支援について
 - 1) 親子通園事業の拡大
 - 2) ひまわり学園など障害児通所施設について
- ・子ども参観日について
- ・命を大切に授業について

選挙の投票率向上について

- ・ショッピングセンターなどへの投票所設置について他

北九州マラソンについて

自治会組織の今後について

学研地区の小学校新設と小中一貫連携教育、 市民センターの併設について

(小学校については平成29年4月開校予定です。)

若松区のまちづくりについて

- ・本町へのふれあい住宅の新設について
- ・市政50周年ウォーキングイベントについて



議会改革協議会の設置について

議会改革協議会のメンバーとしても頑張って参ります。

北九州市議会では前任期中に議会基本条例を制定、議員報酬や政務調査費の削減など議会改革に取り組んでまいりましたが、今期も改めて議員定数などについても議論を深め、市民の皆様が期待する役割（監視・評価・政策立案機能）を果たすための議会・議員の活動が強化できるよう議会改革協議会を設置しました。そのメンバーの一人としてしっかり議論して参ります。

こんなことが実現しました。

市政50周年記念 若戸大橋ウォーキング平成25年10月20日(日)開催決定

昨年若戸大橋の50周年記念事業として若戸大橋を歩いて渡る「レッドウォーク」が実施され、約1万人の方が参加、若松区を中心市街地も大変賑わい好評を得ましたが、安全上人数の制限があり、希望されても抽選にもれ歩けなかったという方も少なくありませんでした。そこで多くの方のお声をいただき、昨年の12月議会で質問し、もう一度このようなイベントを実施してはと強く要望しておりましたが、以下のように実施されることとなりました。(事前申し込み要)

若松市民会館に市民ギャラリー室OPEN。ぜひご活用下さい。

質問要望していた市民ギャラリー室が5月9日若松市民会館2階の旧喫茶スペースにできました。以前近くにあった民間のギャラリースペースが閉鎖され、いろんな芸術作品を展示できる場所を望む声が多くあり、良い場所にもかかわらず、長らく倉庫としか使われていなかったこの場所をぜひ有効にと議会で取り上げこのたび実現しました。

このオープンにあたってはできるだけお金をかけずに改修、その代り無料でご利用がいただけることになりました。ぜひ市民の皆様の素敵な作品がたくさん展示され、拝見できることを楽しみにしています。(3名以上の団体でご利用いただけます。詳しくは市民会館まで)

こども参観日

子ども参観日が役所で実施されました
今年の2月議会に提案した「子ども参観日」が実施されています。

「子ども参観日」とは学校で実施されている「授業参観日」とは逆に、夏休みなど学校の休業日を利用して、子どもたちが自分の親の職場を見学する取組です。

- 子どもたちに職場で働く親の姿を見せることで
- ・家庭での会話やふれあいを促進し、家族のコミュニケーションや絆を深める。
- ・育児に対する職場の理解を深め、子育て支援を盛り上げる。
- ・子どもの勤労観につながり、職業観を育むなどの効果が期待されます。

子育てしながら働きやすい職場環境づくりが促進されることでワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進にも繋がります。

ニュースでご覧になった方もいらっしゃると思いますが北九州市役所では7月22日に実施、この夏休み中に区役所や他の市の施設などで約300名の子ども達が参加しました。すでに企業によっては取組がなされているところもありますが、北九州市として現在、実施する企業・事業所を募集しています。



お問い合わせは

北九州市子ども家庭局男女共同参画推進部 担当 萩原、川口さんまで ☎582-8501



わが子お陰さまで小学校2年生となり、ずいぶんたくましくもなりましたが少々生意気にもなり、これから成長する過程でまたいろいろと学ばせて頂くことも多いのだらうと思う今日この頃です。

子育てをしているからこそ尚更に、私の今の一番の関心事は、わが子も含めてこのまちの宝物である子どもたちをいかにその子なりに自立した大人に育てていくかです。今様々な障害による困難や人間関係がうまくいかない、ひきこもり、いじめ他、様々な問題でお悩みの保護者の方が多くおられます。

どうぞ抱え込まずにできるだけ早い段階でまずはご相談下さい。すべて解決できるとは言えませんが、議会で取り上げることや、出来る限り専門の部署におつなぎするなり、解決の糸口が見つかるよう努力致します。

また「幼少期の育ち」が大きく将来にわたって影響することが多い事をいろんな問題にぶつかるたびに強く感じます。その前の妊娠期、授乳期などからお母さん自身が子どもの将来につながることを思って大切に考えていただきたいと同時に、できるだけお母さんが笑顔で過ごせるように周りの方もぜひ協力していただきたいと切に願います。

子育て支援や教育に関して、小さな事でもご意見ご要望を下さい。

現在別途子育てや教育に関するお悩みや、ご意見ご要望を承る用紙を配布しております。ぜひご協力いただけますと幸いです。